

デジタルデバイス使用が眼に与える影響 に関する研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年9月20日～2026年3月31日

〔研究課題〕

デジタルデバイスの若年者の視覚への影響

〔研究目的〕

デジタルデバイス使用が視覚に影響を及ぼすかについて検討する。

〔研究意義〕

デジタルデバイスが眼に及ぼす影響について下記の項目視力、屈折度、眼球の大きさを検討します。視力、屈折度、眼球の大きさがデジタルデバイス使用により変化するかについて検討します。本研究において、眼に与える影響が明らかとなることで眼の健康を守ることに繋がります。

〔対象・研究方法〕

屈折異常以外に眼科的疾患のない2017年1月1日～2023年3月31日までの期間に帝京大学医療技術学部視能矯正学科および2021年1月1日～2023年3月31日までの期間にスポーツ医療学科救急救命士コース在籍の学内実習において得られた視力、屈折度、眼球の大きさのデータ720名についてスマートフォンやタブレット端末が眼にどの程度影響を与えるかについて検討します。該当する科目は視能矯正学科2年生科目の視能生理学(実習含む)、視能生理光学(実習含む)、視覚生理学(実習含む)、視能薬理学(実習含む)、基礎視能矯正学Ⅰ、基礎視能矯正学Ⅱ、基礎視能矯正学Ⅲスポーツ医療学科救急救命士コース2年生科目臨床実習Ⅱが該当します。

〔研究機関名〕

帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

〔個人情報の取り扱い〕

得られた情報は個人が特定されないよう加工する。本研究で得られたデータに関しては、「帝京大学・帝京大学短期大学における研究データの保存等に関するガイドライン」に基づき、原則として当該論文等の発表後10年間の保管とする。電子化データについては、メタデータの整理・管理と適切なバックアップの作成により、利用可能な形で保存する。国内専門学会で発表予定です。

発表時にはデータを全て個人情報がかからないよう加工され、個人情報は秘匿されるよう配慮します。保管期間は、研究終了から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までとし、保管期間経過後、電子データは復元不可能な方法で速やかに削除します。紙媒体はシュレッダーで裁断し破棄します。

対象となる本学卒業生・在学生で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。本学在学生で研究への使用をご承諾いただけなかった場合ですが、情報使用拒否の申し出が成績や評価には一切関係ありませんのでご安心ください。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：渡部 維（准教授）

研究分担者：松岡 久美子（教授） 広田 雅和（講師）

所属：帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1328